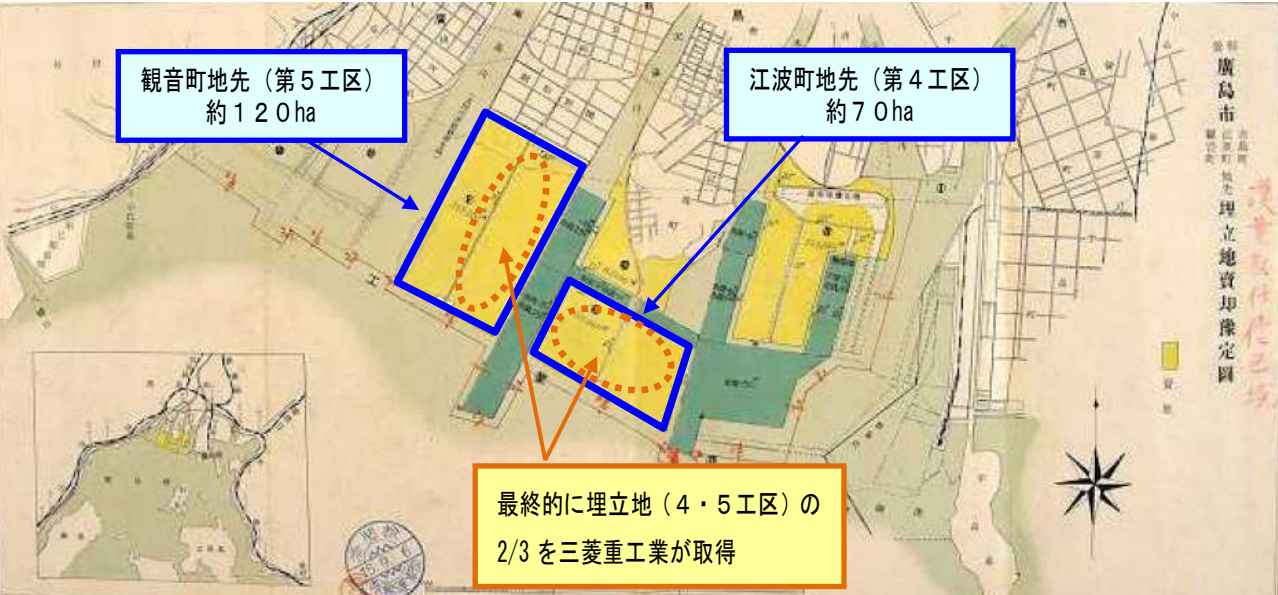


観音新町地区における造成経緯

年次	主な動き
昭和 8 年（1933 年）	広島県が工業港の建設を構想
昭和 15 年（1940 年）	広島県が工業港の埋立工事に着手（埋立地の売却代金を見込み不足額は県債を充当）
	広島県が工業港の埋立地への企業誘致を開始（積極的に三菱重工業に対し誘致運動を展開）
昭和 17 年（1942 年）	三菱重工業は、広島工業港埋立地への進出を決定し、三菱地所を介して観音町地先（第 5 工区）の土地売買契約を締結 さらに、船舶の増産を急務とする海軍の強い要請を受け、江波町地先（第 4 工区）の土地売買契約を締結
昭和 18 年（1943 年）	三菱重工業は、観音の造機工場と、江波の造船工場を同時着工 工場建設の突貫工事により一部創業開始
昭和 21 年（1946 年）	広島県は、売却代金の残り（1/3）を三菱地所から名義変更を受けた産業設備営団に請求
昭和 22 年（1947 年）	埋立工事が一部未完成のまま打ち切り竣工
	営団が GHQ の指令で閉鎖されるなど交渉が難航し、代金に見合う遊休地を県に返還することで合意
昭和 27 年（1952 年）	都市計画道路駅前観音線（当該地区は幅員 20m）が都市計画決定（建設大臣告示）
昭和 35 年（1960 年）	広島商科大学（現在の広島修道大学）が観音に開学
昭和 36 年（1961 年）	国営広島空港（滑走路 1,200m）が観音に開港
昭和 47 年（1972 年）	国営広島空港の滑走路を 1,800m に延長
昭和 49 年（1974 年）	広島修道大学が沼田キャンパスに総合移転（跡地は三菱重工業が取得）
平成 9 年（1997 年）	観音マリーナ供用開始
平成 17 年（2005 年）	マリーナホップ開業

【出典】広島県立文書館資料より作成

（参考図）広島工業港の埋立地売却予定図



【出典】広島県立文書館資料より作成（三菱重工業取得部分は類推）

